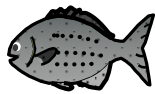




背景 と これまでの 取組

- 全国的に磯焼による「藻場の消失」が進行中。
五島市においても深刻な磯焼被害により、漁獲高などへの影響がでている。
- 2019年 「五島市磯焼対策アクションプラン」を策定。本格的な磯焼対策への取組を開始。
- 磯焼への取組の中で、藻場再生に効果的であった手法を「五島モデル」として構築。
- 2021年 藻場を回復させることで、海藻によるCO2吸収・炭素固定を促進するため、「五島市ブルーカーボン促進協議会」を設置。
- 磯焼けに実働的に取り組む「磯焼けバスターズ」を発足。
- 2022年 クレジット化を目指し、JBEが試行する「Jブルークレジット」認証に向け手続き中。

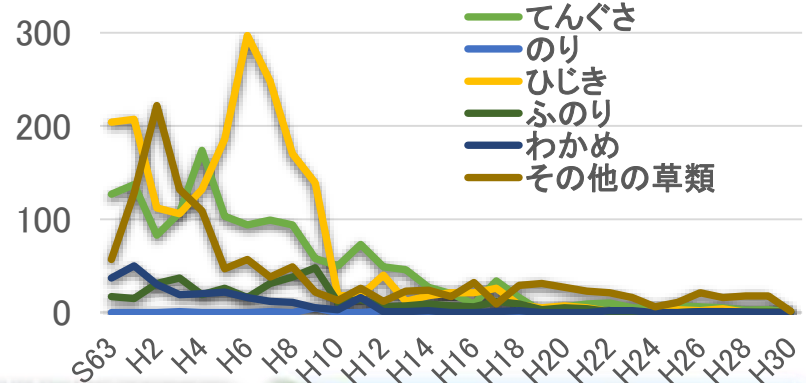


磯焼対策のノウハウの構築、体制づくりを実現。これから藻場の回復を進めていく状況。

現状の 課題

磯焼対策を担う人材の不足

「磯焼けバスターズ」を発足することができたが、人材が不足しており、作業効率が上がらない状況。
持続的に取り組むためにも、人材育成を至急行う必要がある。



事業の 目的

磯焼対策を担う人材を育成すること

- 各漁村において、磯焼への取組を引っ張るリーダー
- 海藻や磯焼けに対する専門知識を持つ人材
- 潜水技術を持つ人材 ○将来の担い手（子どもへの教育）

事業 内容

- 磯焼け対策リーダーの育成
- 磯焼け対策勉強会の実施
- 磯焼け対策シンポジウムの開催
- 潜水士の養成
- 小中学生環境学習の実施
- など





得られる
成果等

人材育成事業 による成果

- ・磯焼けバスターズの活動が活発化
- ・市内各地で磯焼対策を展開
- ・持続的な活動



藻場造成活動

- ・主因生物の駆除
- ・未利用魚の有効活用
- ・母藻の供給（種まき）



藻場の拡大



水産資源 の回復

- ・水産生物の維持、増大による漁業等の振興
- ・雇用の創出

豊かな海・まちづくり



ブルーカーボンの促進

- ・ブルーカーボンによるCO2の削減
- ・ゼロカーボンシティの実現



企業に
求める
もの

1. 企業版ふるさと納税での寄附協力
2. 未利用資源を有効活用した商品開発・販売

企業の
メリット

1. 脱炭素事業、地域再生事業への参画、貢献PRによる企業イメージの向上。
2. 本市との関係性構築による地域資源や関係性を生かした新規事業展開。